

ご質問・VEご提案・見積依頼など、どのようなことでもお気軽にお問い合わせ下さい。お待ちしております。



高知丸高

特殊基礎工事

第177号

新技術情報

令和3年2月

〒781-0014 高知県高知市薊野南町12番31号
[URL] <https://www.ko-marutaka.co.jp>

TEL 088-845-1510 FAX 088-846-2641
[Email] marutaka@ceres.ocn.ne.jp

四万十岩間沈下橋補修工事

岩間沈下橋の橋脚は50年の歳月による老朽化と流速に乗った玉石等に打ち当てられ、橋脚となる鋼管杭に凹凸ができ穴があき、落橋寸前の状況であった。その補修工事として、橋脚に当て板補強による修復を行っております。

橋脚鋼管杭φ500+12mm破損状況

流下する土砂の衝突や巻き込みにより、鋼管表面が削られたものと考えられる。

小規模な孔食

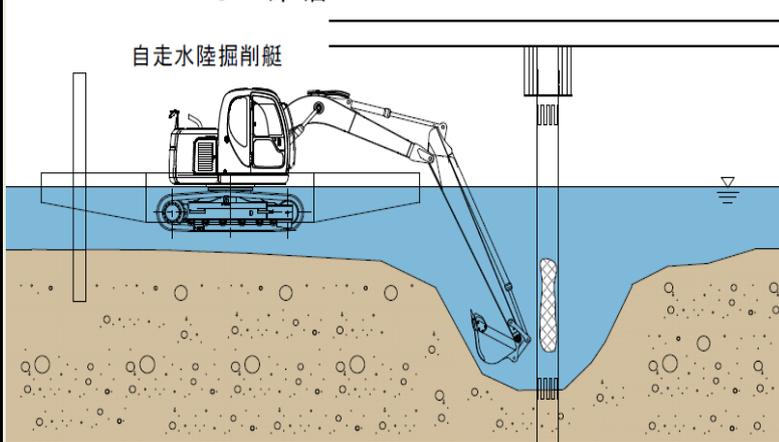


大規模な孔食

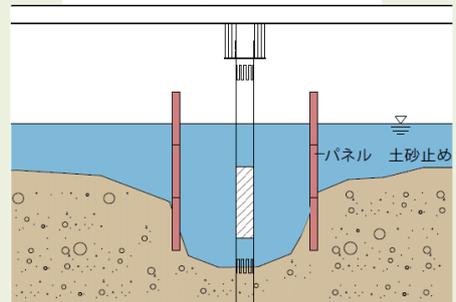


施工順序

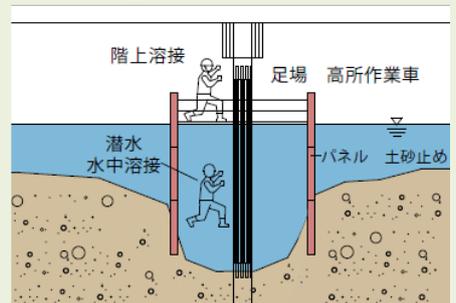
施工順序① 床堀



施工順序② パネル設置



施工順序③ 当板鋼溶接 (水中・陸上)



橋下低空間4.0mの床掘。橋脚周辺深さ4.2m掘削。自航水陸バックホーを陸上で組立・自走させる。水上はスクリューで、現場まで自航する。スパッドで固定、掘削。

自航水陸バックホーによる掘削



仮締切 Mパネル工法 (自社開発)
遮水パネル6.0m x 1.5m x 0.2m



鋼管補強当板：巾441.5mm、厚み $t = 10\text{mm}$
全長：4200mm～1.900mm 全面溶接



自航水陸バックホー
陸上走行



自航水陸バックホー
水上走航



配信停止・変更・問い合わせはmarutaka@ceres.ocn.ne.jpまで連絡お願い申し上げます。